



巻頭特集 恵川商事株式会社のエコ商品

地域活性化の起爆剤 ゆる～い顔で 元気をふりまく、アカパックン

千種区に本社を構える恵川商事株式会社が製造販売しているエコグッズ「アカパックン」は、社長の熱い思いと地域産業からヒントを得て誕生しました。障がい者や高齢者、そして女性と手をたずさえて、日々新しい商品を作り続けています。



娘を思う気持ちから誕生
世の中に役立つ商品を開発

黄緑の顔に黄色いくちばし、目を閉じてゆるやかな表情を見せるキャラクター「アカパックン」を見たことがある人は多いはず。なんだかホッとするような見た目と裏腹に、製品としての効果は抜群。浴槽に入れておくと、皮脂や垢などのゴミを吸い取ってくれるエコ商品です。他に類を見ないユニークな商品で、メディアでもしばしば取り上げられています。アカパックンを製造・販売しているのが恵川商事株式会社。昭和33年、くしやカーラーなどの美容用品卸売業としてスタートしました。その後、時代の移り変わりに柔軟に対応し、タオルや軍手などをガソリンスタンドに卸したり、日用品を医療・介護施設に販売したりしていました。いち早く介護施設へ販路を開いた恵川商事でしたが、大手メーカーの参入によって苦境に立たされました。「価格競争に巻き込まれました。営業スタッフとも『このままじゃ潰れますよ』と話しかけていたほどです。『これではまずい』と、一念発起しました」と安藤孝平社長。「ちょうどその頃、娘を亡くしたこともあり、『優しく思いやりで満ちていた娘に代わって、社会のために何かしたい』という気持ちが新商品の開発へと向かわせました」。

当時、商品の企画・開発や製造はしていませんでしたが、多様な業種とのつながりを築き、商品化されていないアイデアを持ち込むメーカーもありました。その一つに、海外の安

障がいがあっても、できることはたくさんある人たちが、楽しくのびのびと働く場を作りたい。

価な製品に押され業績を落としていた靴下メーカーからの提案があったのです。それが、靴下に吸着力のある素材を詰め込んで汚れをとるというアカパックンの原型でした。

「浴槽に浮かべて風呂の汚れを取る商品はそれまでなかったため、効果を証明するのに苦労しました。試行錯誤の連続でした」と振り返ります。船舶事故で重油を回収するオイルフェンスの素材を採用し能力を高め、デザインやパッケージにも工夫をこらす

など、社をあげて努力を重ねました。約3年の開発期間を経て、平成17年、アカパックン発売。早速、関東地区の新聞に取り上げられたこともあり、売り上げは上々でした。しかし注目はすぐに下火になり在庫を抱える事態に。社長自ら地道に実演販売などを続けましたが、なかなか売上げを伸ばすことはできません。

転機は平成20年、北海道洞爺湖サミットの開催でした。環境問題について取りざたされる機会が増えると、

アカパックンが再びメディアの注目を浴びます。情報番組で次々と紹介され、さらに芸能人がSNSで「アカパックンが友達」と発信。発注数がピークを記録し、倉庫をふさいでいた大量の在庫は掃られました。

**障がい者や高齢者
そして地方を元気づける！**

アカパックンは、一つひとつが人の手で作られています。作業の多くを担当しているのが、障がいがあるみな

さん。「全生産量の6割は、障害者施設に外注しています。障がいがあっても、できることはたくさんある人たちが、楽しくのびのびと働く場を作りたい」と安藤社長。「結構、力が必要で、みなさん顔をしかめて作業していたんです。もつと作業しやすくできないかと、作業用の治具も開発しました」。岐阜県可児市にある工場では、作業を容易にする治具も開発しています。また、短時間勤務の高齢者を積極的に雇用し、内職は優先的に女性に依頼。「障がい者、高齢者、女性とさまざまな雇用を維持するために、今後も生産の自動化はしません」という言葉に揺るぎない信念が宿っていました。

現在アカパックンは、洗濯用・部屋干し用・虫よけ用など、用途も多様。虫よけ用には、間伐材から抽出したフィトンチッドという成分を使用しています。さらに地元で子どもたちによるデザインコンテストを開催し、大賞をパッケージ化。日本各地のゆるキャラをデザインした商品も展開しています。

恵川商事は、地域にある技術やアイデア、人材、人材を発掘し、ビジネスにつなげてきました。アカパックンのゆる～い表情の裏には、安藤社長と地域の人々の熱い思いが隠されています。



一つひとつのアカパックンに使う綿の量を測り、手作業で詰めています。治具を利用して両手で綿をきれいに入れる作業が続いています

アカパックンができるまで

最後も人の手によって作業。手で包むように持って、丁寧に形を整えます



information

恵川商事 株式会社

名古屋市千種区赤坂町3-37

恵川商事株式会社
代表取締役

安藤孝平さん

使っていたただけでエコに貢献でき、さらに障がい者のみなさんの社会的自立のお手伝いもさせていただいています。モノづくりを通じて、社会や環境に貢献できる企業であり続けたいと考えています

